

# 佐賀市地球温暖化対策実行計画と 環境への取り組み

- 地球を取り巻く課題
- 佐賀市地球温暖化対策実行計画
- 佐賀市地球温暖化対策地域推進計画
- 佐賀市環境都市宣言
- 佐賀市の環境への取り組み

勸興公民館の  
緑のカーテン

九州沖縄ブロック地球温暖化対策事例紹介セミナー  
＜博多市民センター＞  
平成24年1月20日  
佐賀市環境課

# 地球を取り巻く環境問題



温暖化

異常気象

森林減少

土壌汚染

砂漠化

大気汚染

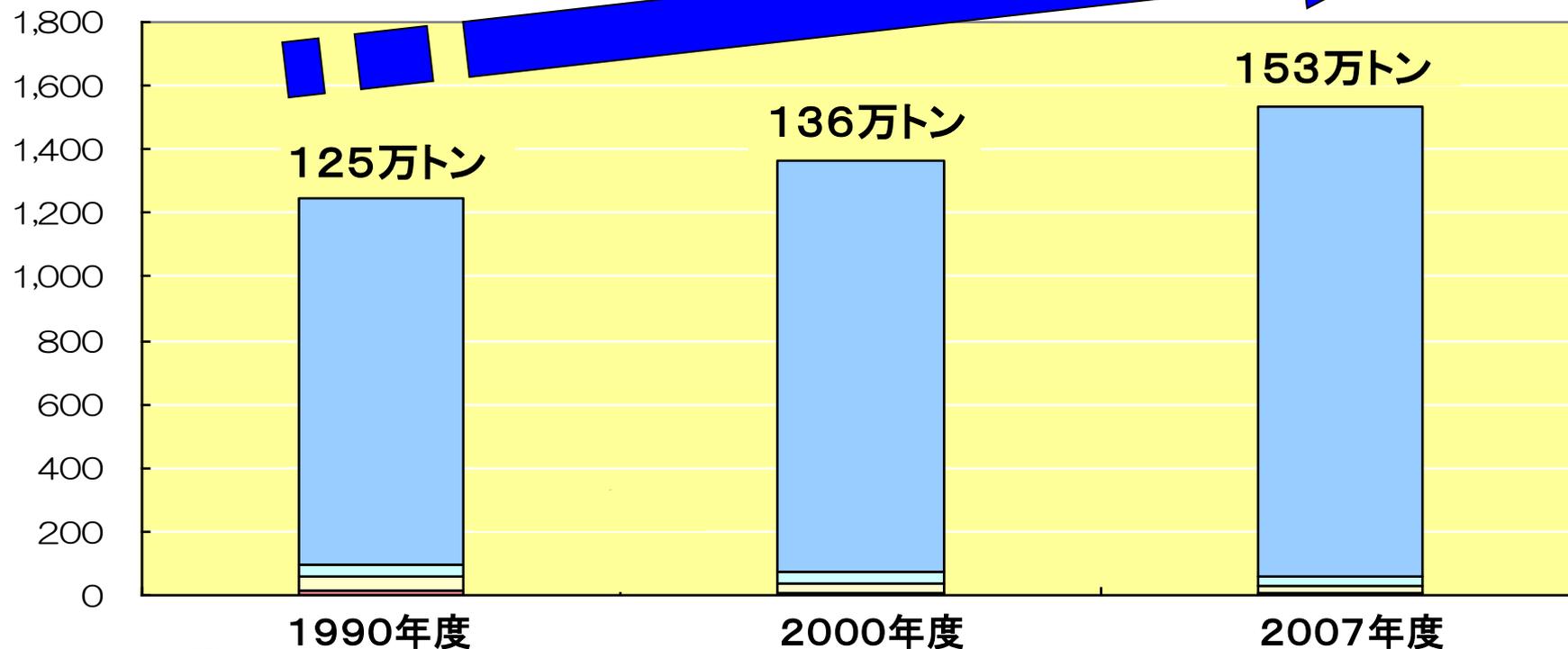
資源枯渇

水質汚濁

# 佐賀市の温室効果ガス排出量の推移

17年間で約**28万t** - CO2増加 (**22.6%**増加)

千 t - CO2



特に増えたのは...

- ・民生業務部門は1990年と比べて**91%**増加
- ・民生家庭部門は1990年と比べて**39%**増加

# 民生業務部門の増加(91%増)の要因

業務系建物床面積の増加(61%増)に比べて、二酸化炭素の排出量が大きな伸びを見せている ⇒ 1事業所あたりのエネルギー使用量が増加

・パソコン等OA機器の普及



- ・卸小売・サービス業の店舗営業時間の長時間化(24時間営業)
- ・郊外の大型店の増加



# 民生家庭部門の増加(39%増)の要因

世帯数の増加(17%増)に比べて、二酸化炭素の排出量が大きな伸びを見せている ⇒ 家庭1世帯あたりのエネルギー使用量が増加

家電製品の普及率・  
複数保有率が増加。



# 市役所自身の環境負荷低減

平成20年度(2008年度)

佐賀市地球温暖化対策実行計画を策定

<内容>

佐賀市の事務事業に伴って排出される温室効果ガスを削減する計画

<目標>

2014年度までに**6%**削減する(2007年度比)

# 取り組みの例

## 廃棄物の削減・リサイクルの推進

事務用品の  
共有化



ミスプリントは  
捨てずに再使用！

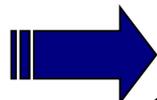


その他...

- 両面・集約コピーを徹底する
- エコマーク等の環境ラベルがついた商品を購入する



# 廃食用油の回収



廃食用油を精製して燃料  
を作り、ごみ収集車で利用



# 省エネルギーの推進

ノー残業デー（水曜）の徹底  
残業時照明の最小限化  
昼休みの消灯



公用車に  
ハイブリッドカー（4台）・電気  
自動車（4台：23年度）を導入



その他...

- 上下3階以内の移動は階段を利用する
- エコドライブを心がける

# 市立図書館への太陽光発電の設置

H22年5月に太陽光発電システムを設置。

○太陽光パネルの規模 30kW

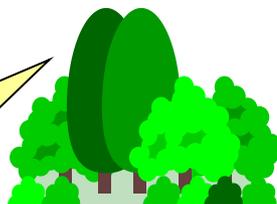
○年間予想発電量  
約31,000kWh／年

○年間CO<sub>2</sub>排出量予想抑制効果  
約11.6トン-CO<sub>2</sub>／年



[写真] 図書館屋上の太陽光発電システム

杉の木の年間CO<sub>2</sub>吸収量  
約828本分に相当！



# 消化ガス発電の導入

下水浄化センターで発生する消化ガスを燃料として発電  
平成23年4月稼動開始

○年間予想発電量

約3434,000kWh／年

○年間CO<sub>2</sub>排出量予想抑制効果

約1,169トン-CO<sub>2</sub>／年

家庭の年間CO<sub>2</sub>排出量  
約230世帯に相当！



# 新エネルギーの導入

廃棄物発電  
(ごみを燃やす時に発生  
する熱で発電)



風力・太陽光  
ハイブリッド外灯



# 佐賀市の取り組み

## 佐賀市地球温暖化対策地域推進計画の策定

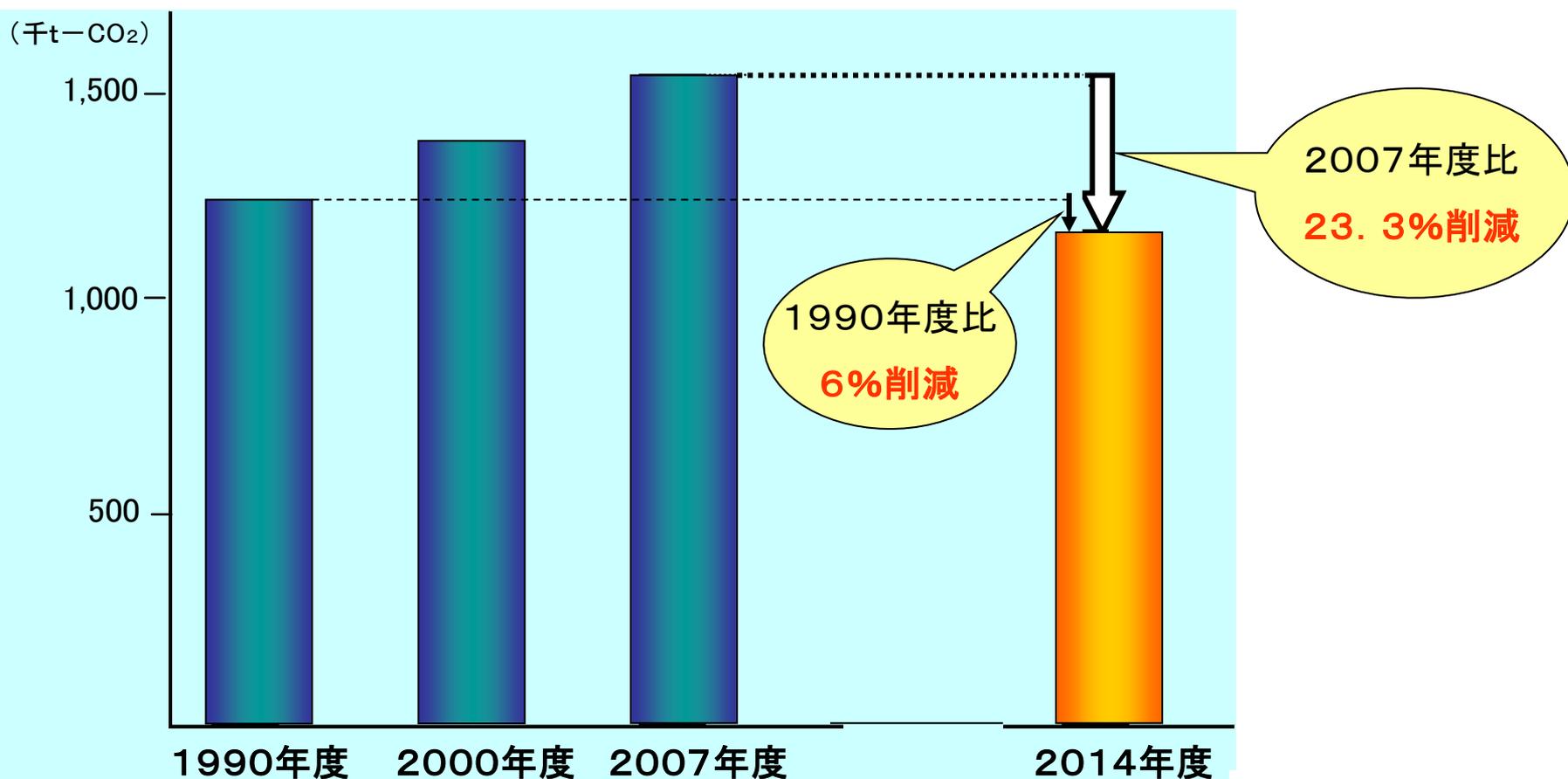
### <目標>

佐賀市全体での温室効果ガス排出量を  
2014年度までに1990年度比**6%削減**する。

### <内容>

行政・市民・NPO・事業者が協働して取り組む温暖化対策の計画

# 『佐賀市地球温暖化対策地域推進計画』の目標



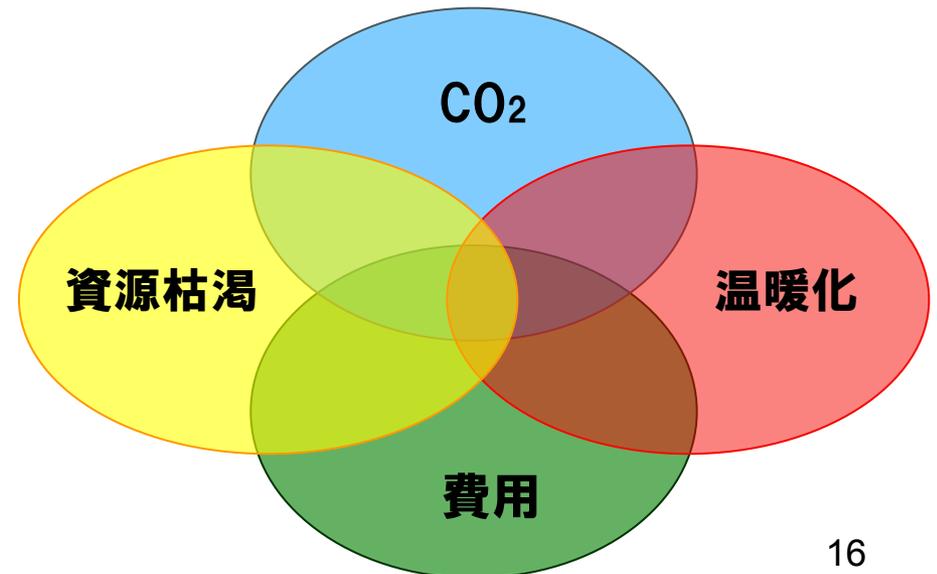
2014年度目標 **23.3%削減** (2007年度比)

# 燃えるごみの減量



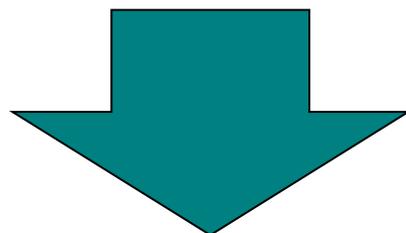
# ごみ問題

- 最終処分場（埋立地）のひっ迫
- 限りある資源の枯渇
- 地球温暖化の加速  
（ごみ処理の際、大量の二酸化炭素が発生）
- ごみの処理費用の負担大



# 燃えるごみ量10%削減

●目標年度：平成24年度（平成20年度比）



さらなる削減が必要！

# 燃えるごみの減量のための取り組み

- 生ごみの堆肥化（体験型堆肥化講習会）
- 紙類のリサイクル（紙袋の活用）
- ごみ減量に関する出前講座の利用



# 佐賀市環境行動指針の策定

～家庭での温暖化対策の具体的な方法～

## <内容>

市民や事業所が日常生活や仕事の中で実践すべき**具体的な行動**を示す

## <目的>

多くの市民、事業所が「佐賀市環境行動指針」に定める行動を実践すること



# 佐賀市環境行動指針

## 屋内でできること

 エアコンの冷房時の室温設定 28℃にしましょう。

27℃⇒28℃にあげると・・・CO2 約**12**kgの削減 電気代 約**600**円の節約

## 移動のときにできること

 近くへの用は、徒歩か自転車を利用

乗用車から自転車にすると(週1回)・・・CO2 約**52**kg、約**2,640**円の節約

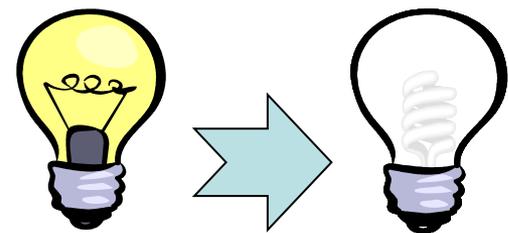
## 買い物のときにできること

 再生品や省エネ家電などの環境にやさしい商品を選ぶ

 食材などは地元産のものを買う

# 家庭での温暖化対策

- ・緑のカーテン
- ・白熱電球からLED電球への切り替え
- ・太陽光発電の導入など



# 緑のカーテンコンテスト

## 第1回緑のカーテンコンテスト入賞作品



最優秀賞



優秀賞

## キャッチフレーズ



1人1本、  
みんなで24万本

3,360トンの二酸化炭素を吸収(カーボンオフセット)

福岡ヤフージャパ  
ン  
ドーム1杯分





# 環境学習への参加



# 環境学習への参加

- ・佐賀市清掃工場の見学
- ・佐賀環境フォーラムへの参加



# 市民の意識調査

省資源、省エネ、節水、美化活動など環境問題  
に対して意識的に取り組んでいますか？

**Yes !**

と回答した人  
の割合

2007年：67.2%

2010年：79.0%

2014年：**83.0%**（目標）

（佐賀市総合計画）

# 佐賀市環境都市宣言

## ●背景

深刻化する環境問題

## ●目的

佐賀の豊かな自然を  
未来の子どもたちへ引き継ぐ

## ●手段

市全体で環境問題に取り組む

# 佐賀市環境都市宣言

市をあげて環境問題に取り組み、佐賀市の豊かな自然を未来の子どもたちへ引き継いでいくために、平成22年2月13日に「佐賀市環境都市宣言」を行いました。



## 佐賀市環境都市宣言

～ トンボ飛び交うまち さが～  
水と緑の脊振山(せふりやま)  
春は麦、秋は稲穂の佐賀平野  
干潟広がる有明海

この恵まれた自然の中で、わたしたちの先人は、棚田を開き、クリークをめぐらし、漁に励んで、毎日を懸命に生きてきました。それは自然の恩恵を受けながら、同時に自然を守る生活でした。

ところが今、地球は温暖化をはじめ、大気や水の汚染など、生きものの生存が脅かされる事態になっています。もはや環境破壊はひとごとではありません。

わたしたちは、一人ひとりが環境に対する責任を自覚し、この豊かな自然を守り、育て、未来の子どもたちに伝えていくことをここに宣言します。

- 1 わたしたちは、環境について真剣に学習します。
- 1 わたしたちは、未来の子どもたちのために今できることを考え、話し合います。
- 1 わたしたちは、身近な環境も地球の環境も、ともに守るよう努めます。
- 1 わたしたちは、世代や立場を超え、すべての人とともに行動します。

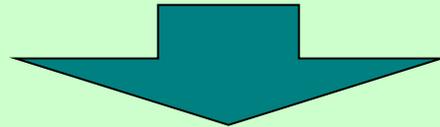
平成22年2月13日

佐賀市

# 佐賀市環境都市宣言

## ●手段

市全体で環境問題に取り組む



- ① 市民一人ひとりが自ら行動を起こす
- ② 地域、事業所、NPO、団体、行政等が連携・協力しながら、これまで以上に積極的に取り組む

# 宣言後の主な取り組み

## 市民

- 燃えるごみの減量
- 家庭の温暖化対策
- 市民ひとり1本の植樹
- 環境学習への参加

## 連携・協力

## 事業所

- 事業系ごみの「減量計画書」提出
- 中小企業省エネルギー設備等導入促進
- エコアクション21の認証取得
- 事業所の温暖化防止活動の実施  
(緑のカーテンづくり など)

## 行政

- 市立図書館への太陽光発電の設置
- 道路の街灯、市の施設へのLEDライト導入
- みどりのネットワークづくり(24万本植樹)
- 事業所・NPOのエコチャレンジ応援
- パーク&ライドによるバス利用の促進
- 啓発イベントの実施、環境教育の推進
- 市役所自身の環境負荷の低減

# 佐賀市の環境への取り組み

## ＜再生可能エネルギーの利用促進＞

### 太陽光発電導入補助事業

＜内容＞個人住宅及び自治公民館への補助

＜予算＞個人住宅 3000万円(1件上限10万円)

自治公民館 1500万円(1件上限150万円)



佐賀市の全世帯が導入すると  
⇒ **248,348t**のCO2削減

# 省エネ家電導入の推進

## 家庭用LED照明購入補助

＜当初予算＞ 500万円 1,000件分

＜補助率＞ 1/2(上限5000円)

6月1・2日のわずか2日間で予定数終了したため、予備費充用であと1,000件分受付した。東日本大震災後の省エネ意識の高まり！

佐賀市の全世帯が省エネ家電を導入  
⇒41,357tのCO2削減



直径 50mm

佐賀県内  
初！！

## 中小企業省エネルギー設備等導入促進事業

### <内容>

佐賀市内に事業所を有する中小企業を対象に、省エネルギー・新エネルギー設備の導入に必要な経費の一部を助成

<予算> 1000万円

<補助率等> (補助対象経費の1/3以内、上限100万円)

<補助対象経費> 太陽光発電設備、LED照明機器、その他の省エネルギー設備等の整備に要する経費

# エコアクション21 認証取得促進補助金

## <内容>

エコアクション21の認証を初めて取得する市内の事業者に、  
認証・登録に係る経費の一部を補助する。

<予算> 150万円

## <補助内容>

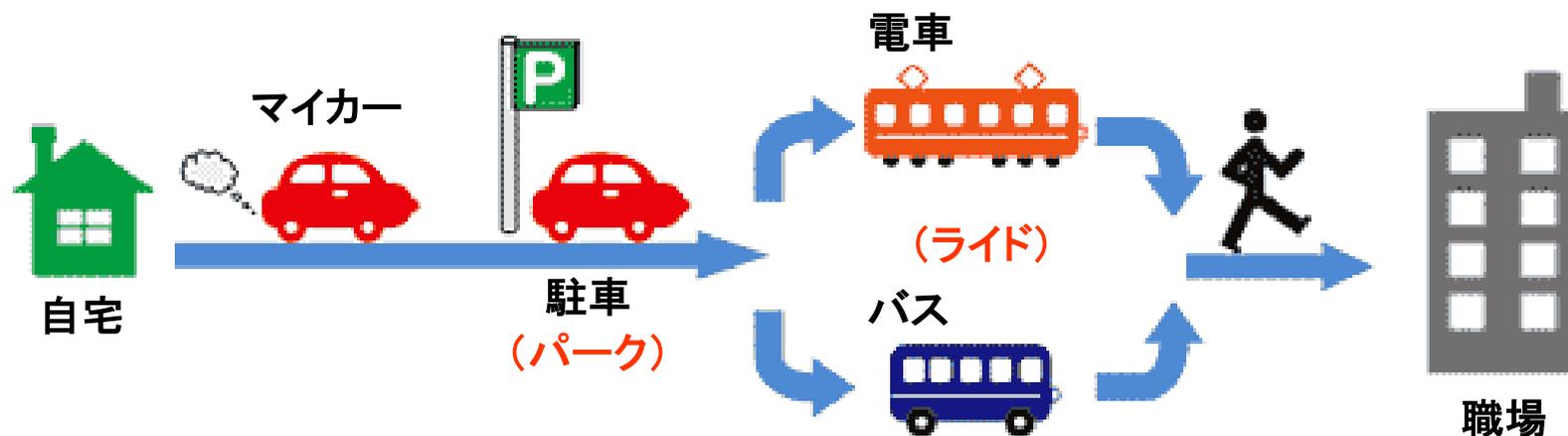
登録審査費用・認証登録料の**2分の1**（上限15万円）

# 地域環境の整備及び環境改善

## パークアンドライドの導入

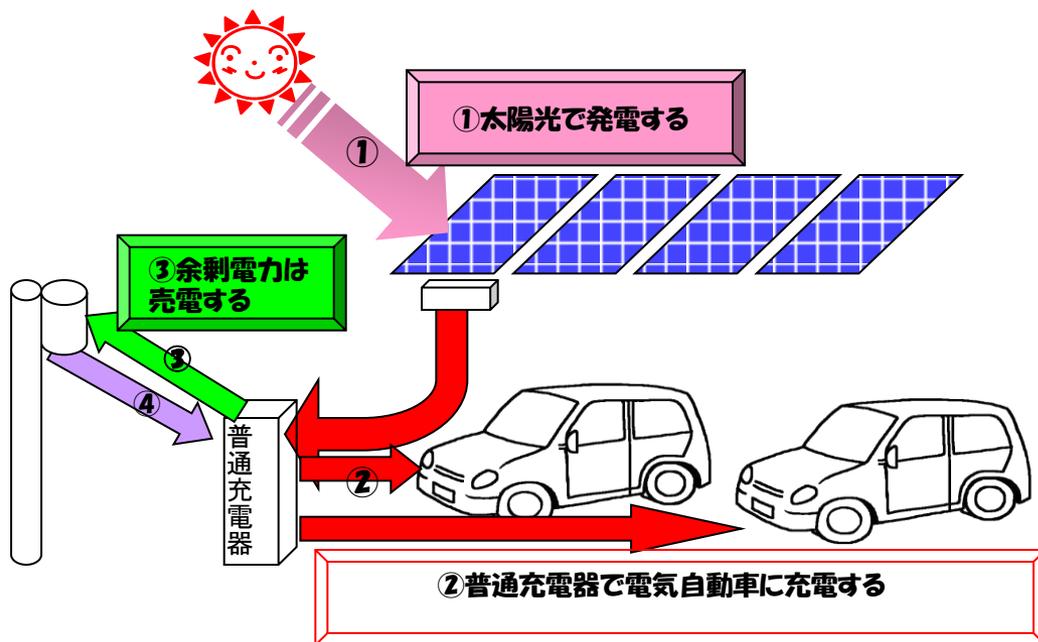
＜内容＞パーク&ライド方式を採用する事業者に対し、PR用品を提供し、メディアで広報を実施していくソフト事業

＜予算＞ 50万円（のぼり旗の設置・参加者への記念品・広報費用等）





# 公用電気自動車用普通充電設備 と組み合わせた太陽光発電導入事業



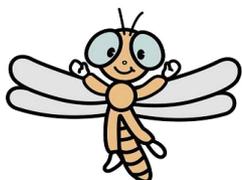
年間113,000円のガソリン代削減

# 佐賀市の公用車に電気自動車を導入しました！

電気自動車は、充電した電気を用いて走行するため、ガソリンを用いるよりもエネルギー効率が高く、環境に優しい車として現在注目を集めています。

1回のフル充電で約200kmを走ることができ、電気代も約400円程度と一般車のガソリン代に比べて約4分の1程度で済みます。

主に3.4kwの太陽光発電システムから発電した電力を利用することとしており、電気代もあまり掛からない見込みです。



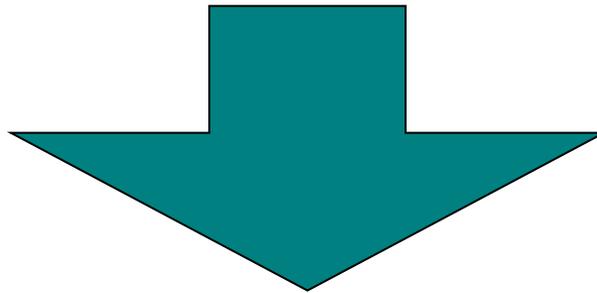
トンボ1・2・3号



まほろちゃん号

# まとめ

豊かな自然を  
未来の子どもたちへ引き継ぐ



全体で環境問題に取り組むことが必要！

# 環境問題に取り組む時の姿勢

- 危機は頭の中にある。
- 危機を具現化する想像力。
- つけを将来の世代に送らない責任感。
- 将来のエネルギー問題も重要な課題となっている。

温暖化対策と再生可能エネルギーの活用が今後のカギ！